

Koi-hime

vol.14

遊月恋歌

ゆーきい

性感靈感巫女少女

みこまん

原作/ヤマモト月

まんが/葵 抄

ナカまで憑いて♡

みずきひとし

増ページ
であるW

哀饗の貴公子

井上元伸

性感
巫女
少女

みこまん

第14話

原作

ルナ
ヤマモト月

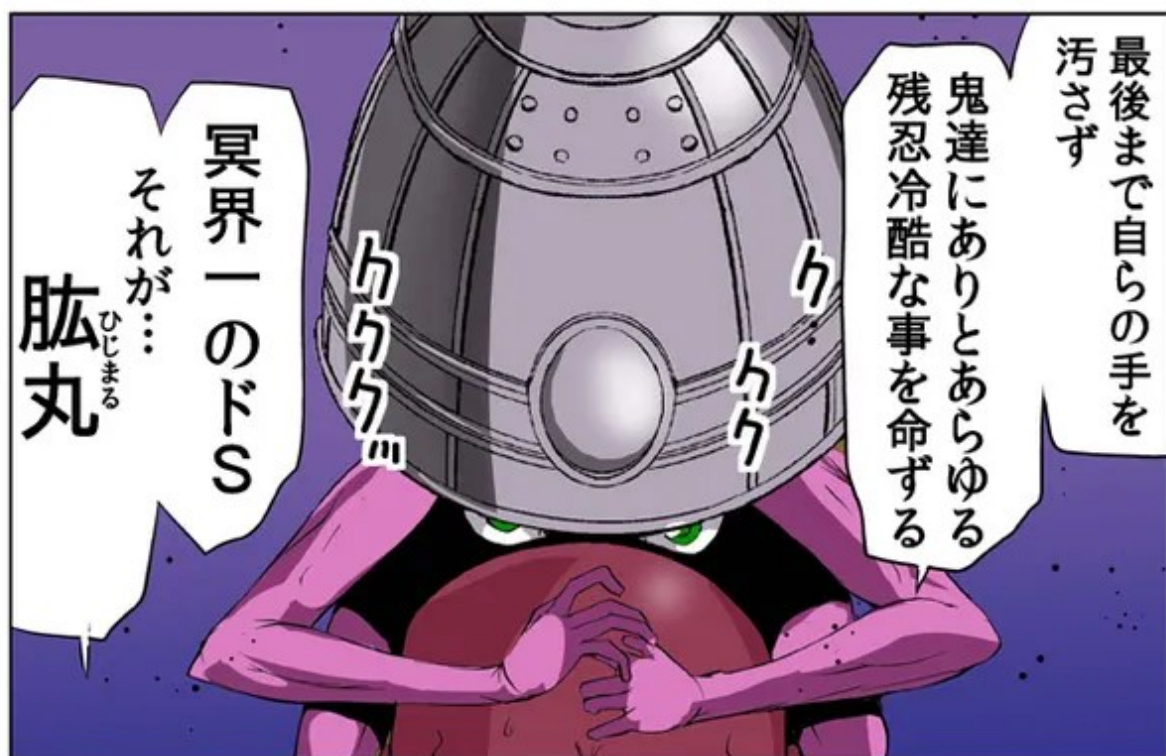
まんが

葵抄

葵うさ改め

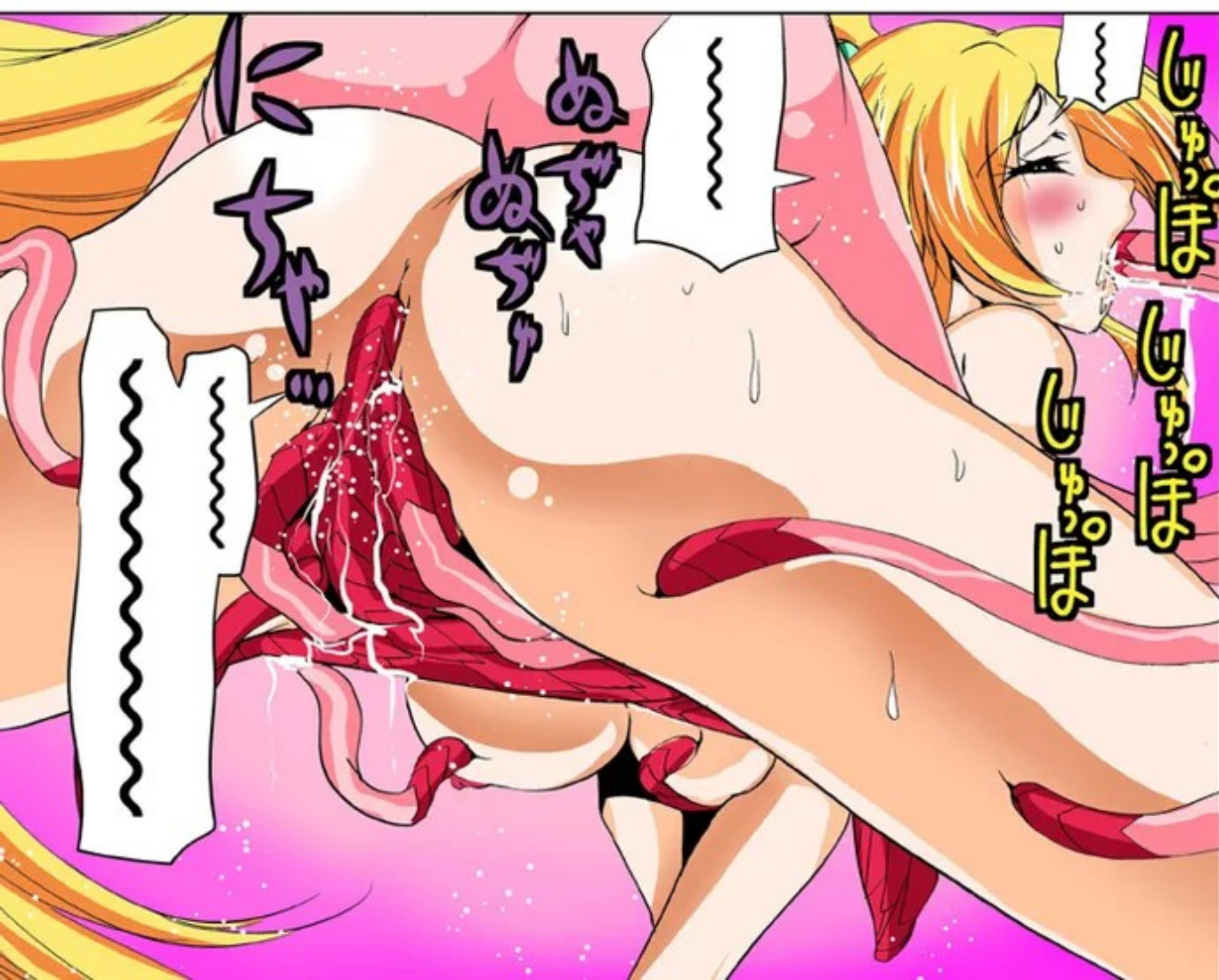






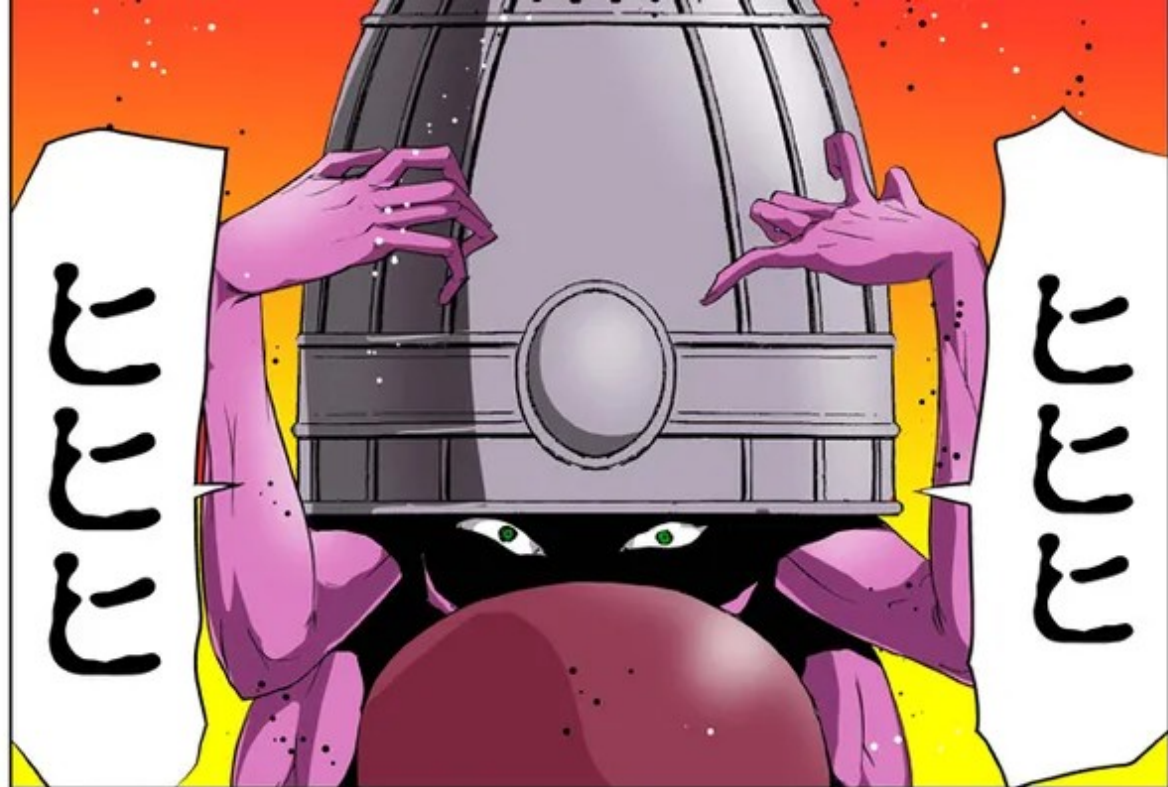




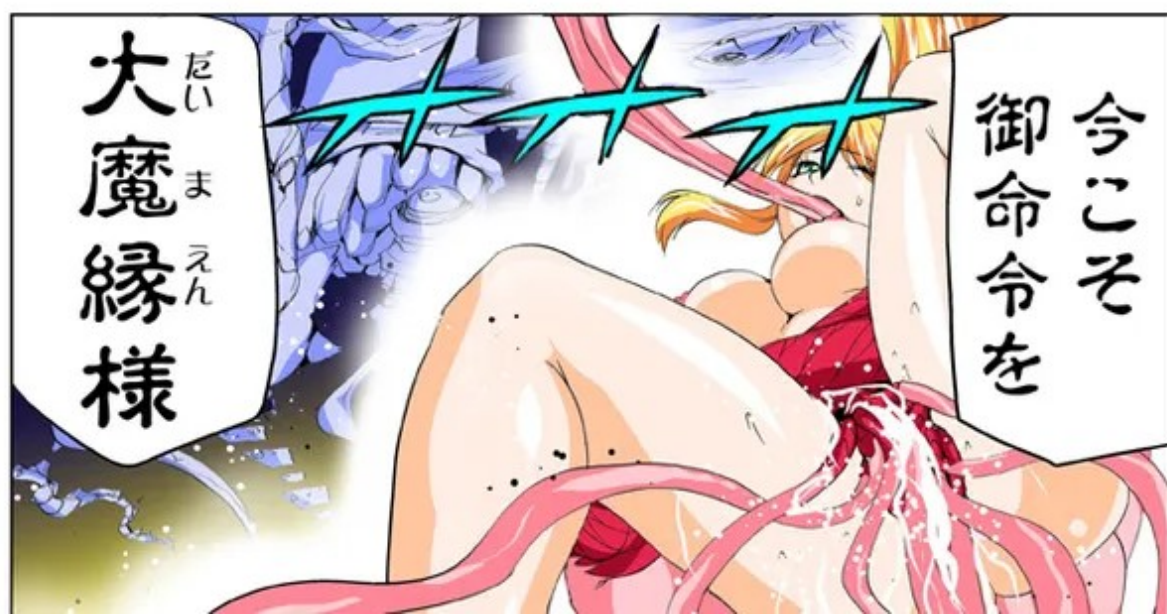




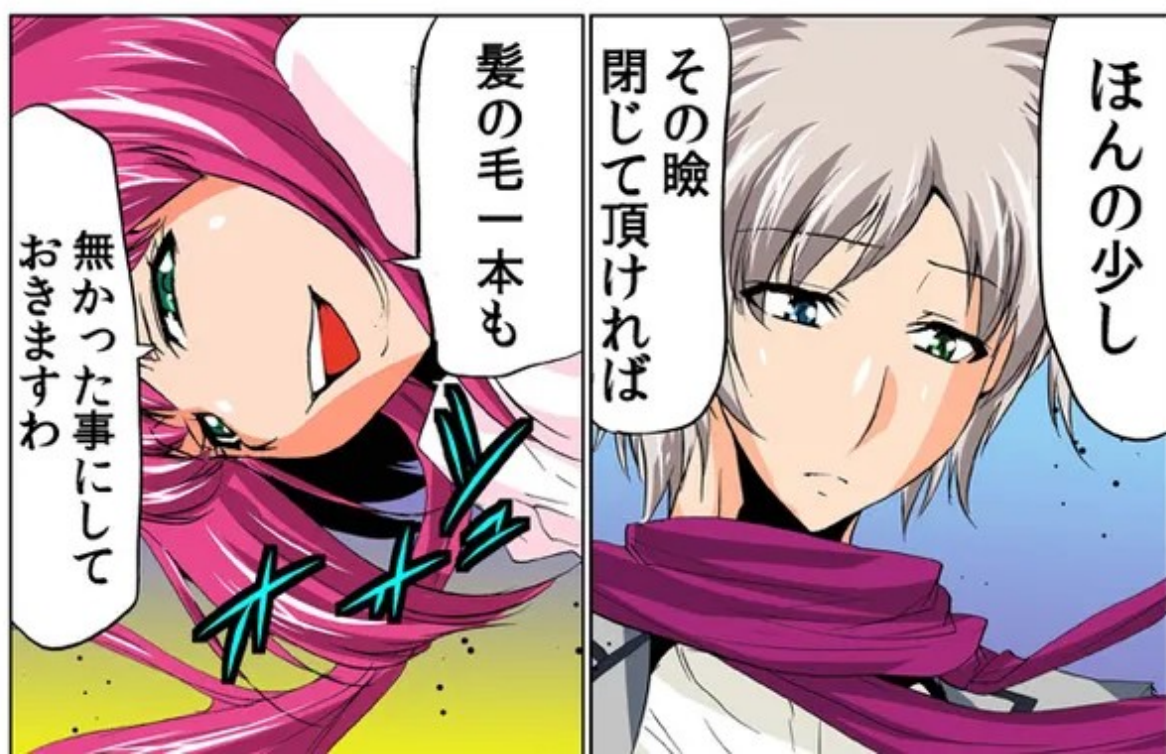
























あ

ふあ…

あ

あ

あ

あ

ビ
チャ
チャ

ビ
チャ
ビ
チャ

が
が
が

あふあうああつああ









粘膜が枯れる程
この現世で地獄を
見せてやる

ドクニ
ドクニ

イカせて
イカせて
イカせて
＃＃
＃＃
＃＃



大魔界軍
進軍の狼煙を
上げる時だっつ

お前の精気が
枯れ果て
身体も粉になった
その時が

まんげつ

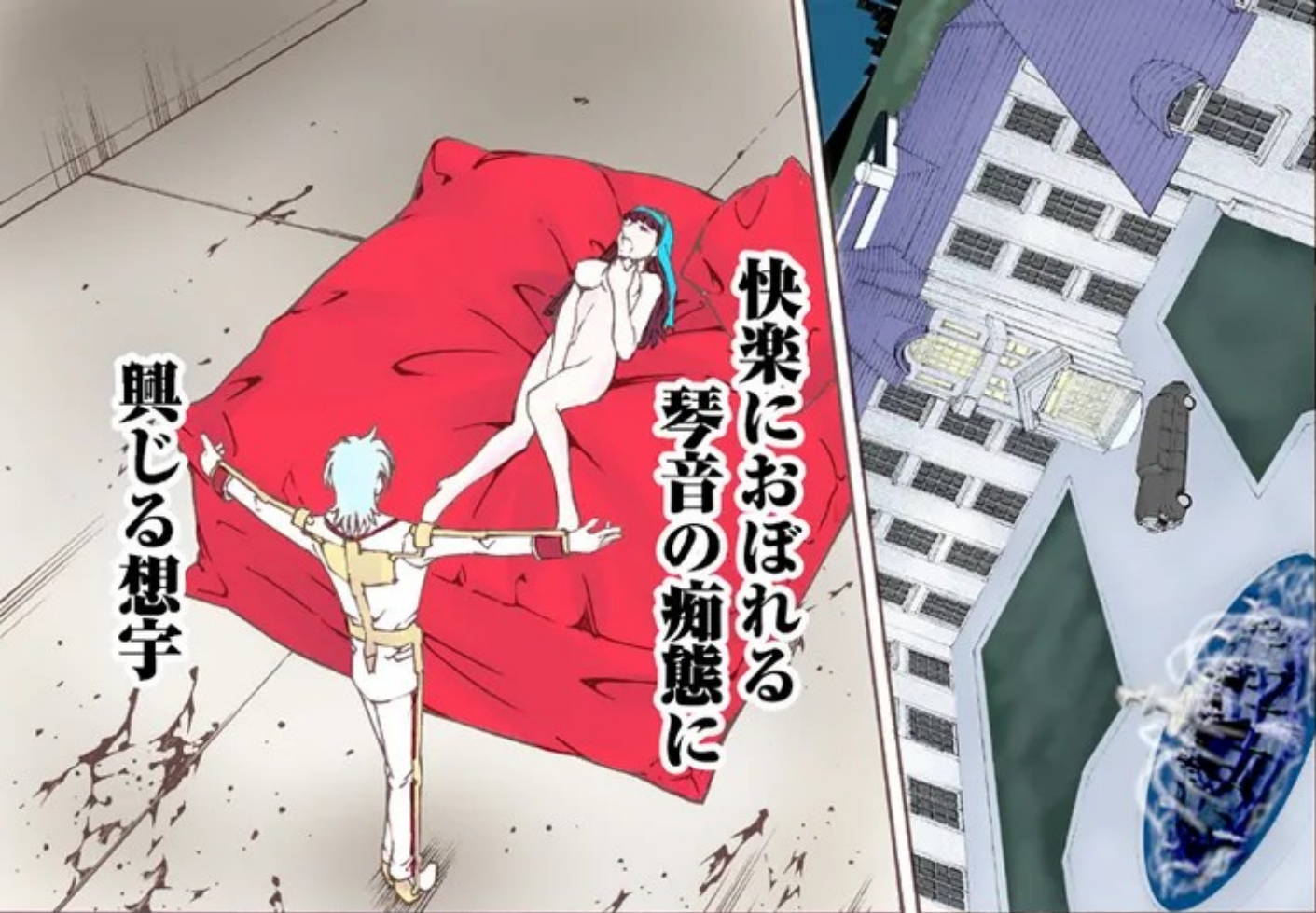


井上元伸



愛願背徳人形

衣饗の貴公子



私の生殖器体に

かすかな鼓動が…

ドクン

ドクン

ドクン



これは…

これは

復活の刻が

アレを…
用意しろ

近い

は？

黄金…

あつ…アレは
未だ試作段階
でして…危…

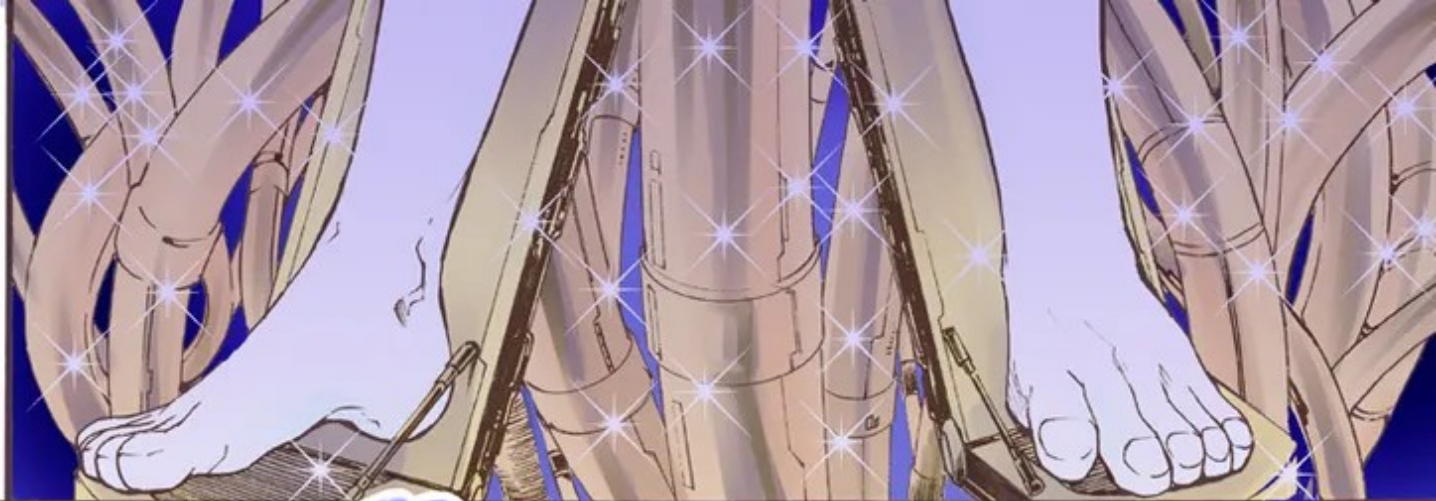
!!

二度

言わせる
気か…

は…ただちに

ニギハヤク

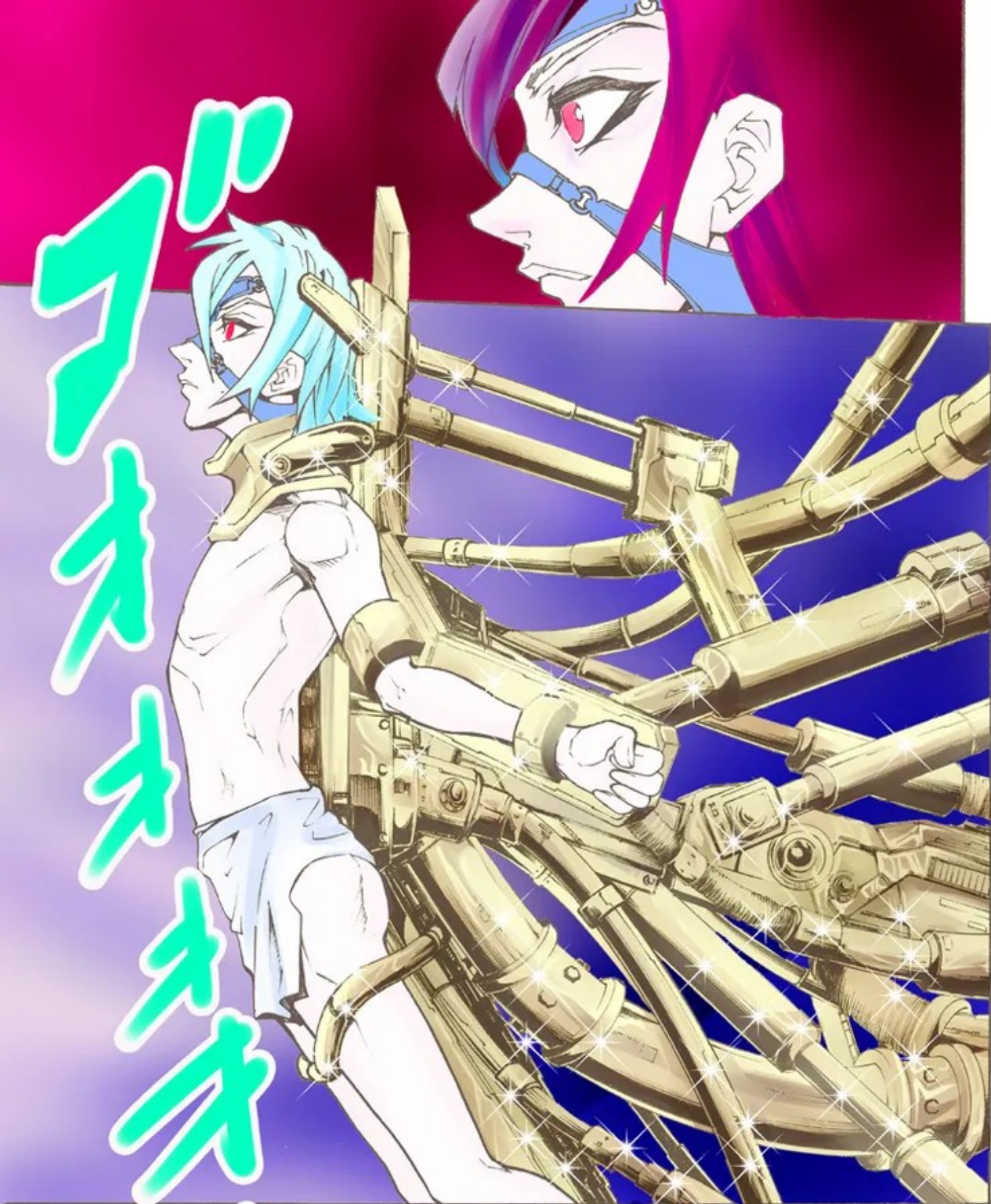


グ"グ"グ"グ"グ"



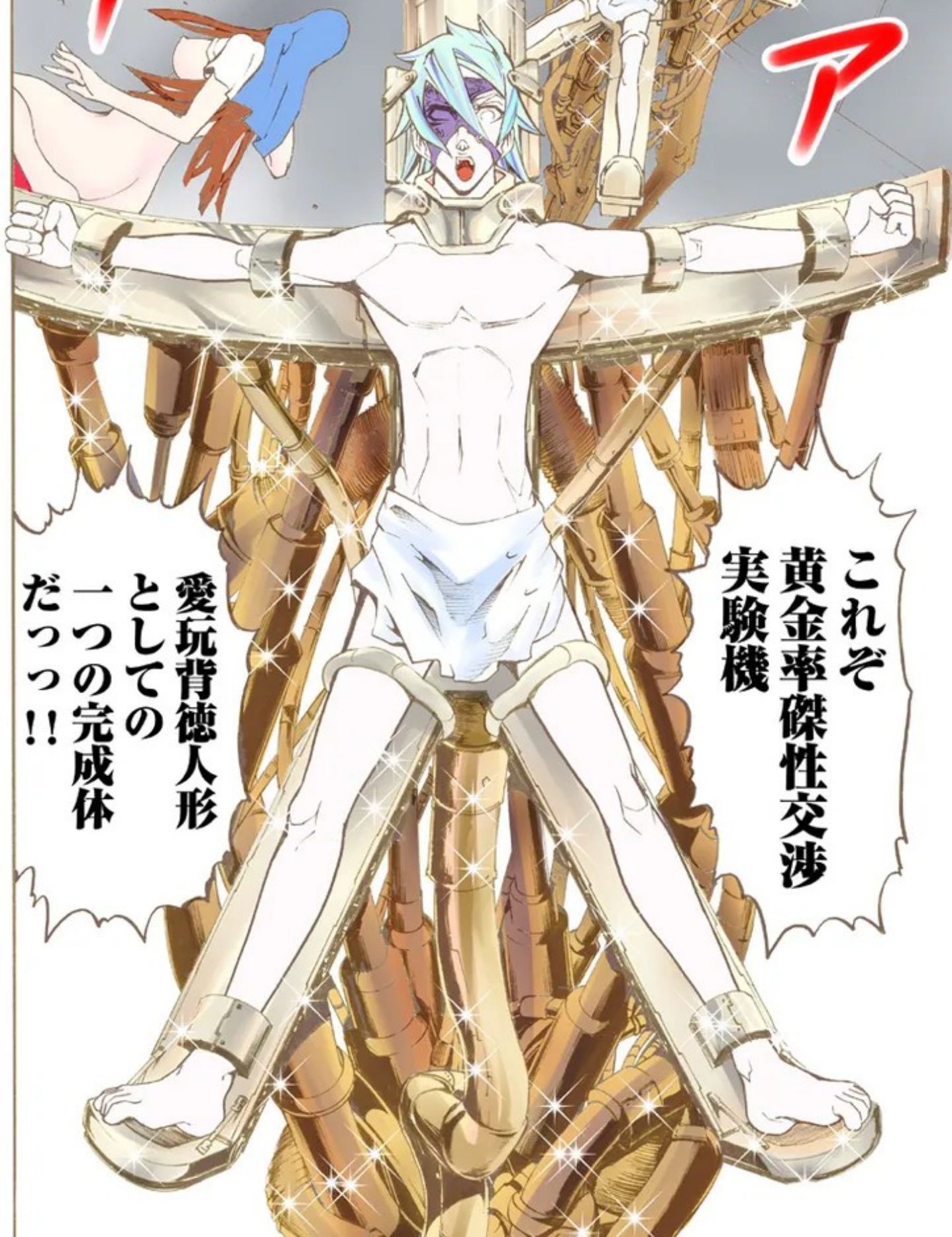
な...なに
この音

グ"グ"グ"グ"グ"



キャアア

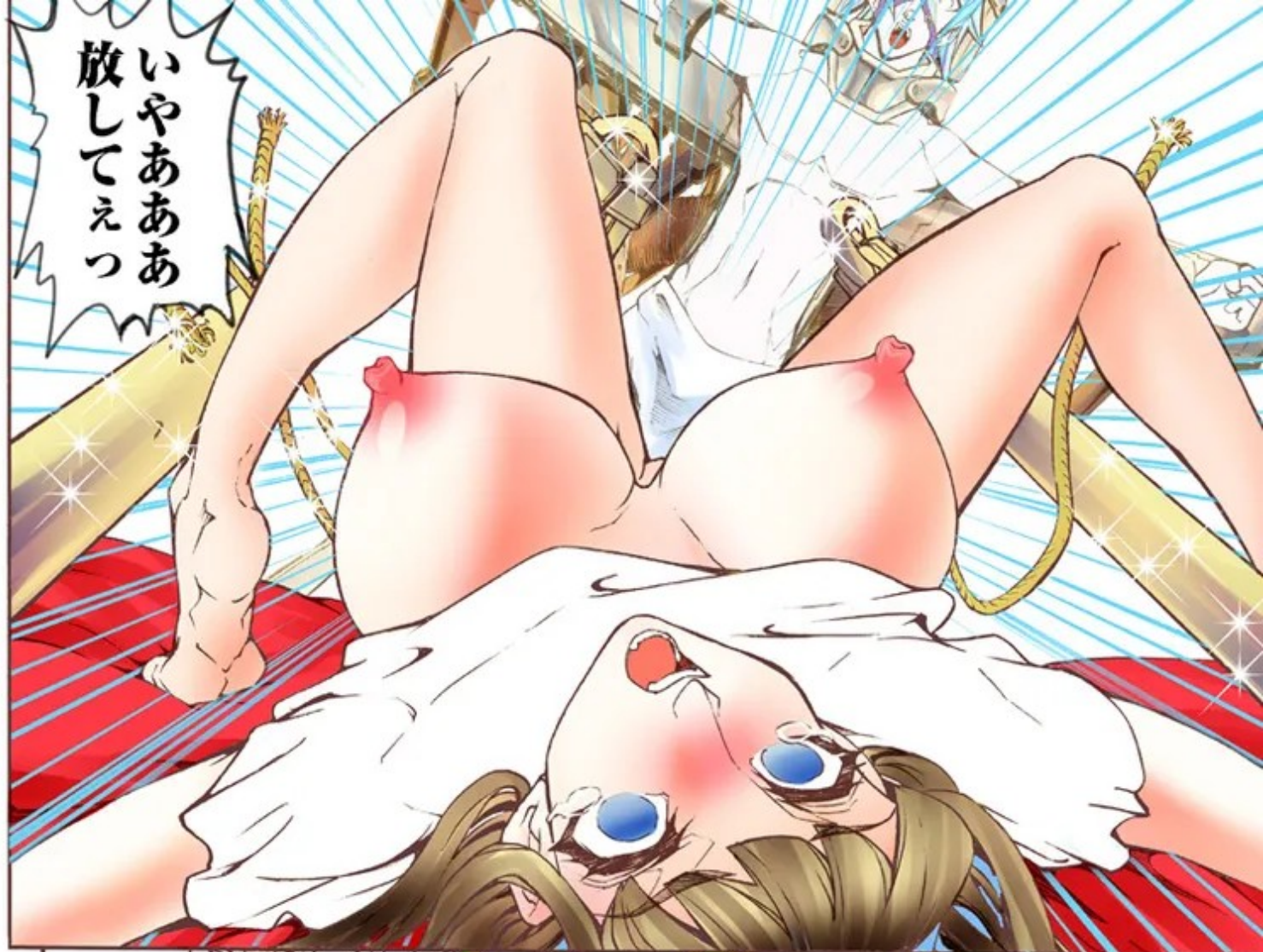
アア



これぞ
黄金率傑性交渉
実験機

愛玩背徳人形
としての
一つの完成体
だっっ!!





くう





ああああ



起動



くくく
本番は
これからだ



ガン

9.7回の
ピストン動作を
可能とする

ガン
ガン
ガン

見よ
本体に到っては
分速580回
秒速にして



ガン

ガン



そして







あきらめよ!!
平穏なる日常など
二度と得られぬ

汝を快楽の無限回廊へと
強制連行してくれん!!













今まで
洋水の中を
漂うがごとく
何も感じな
かった
この体に

痛み

ドグッ

ドグッ

伝わってくる
我が分身を
通じて
口内のやわらかさが
唾液のぬめりが

カ
カ
カ

何より

母さま



お母さま

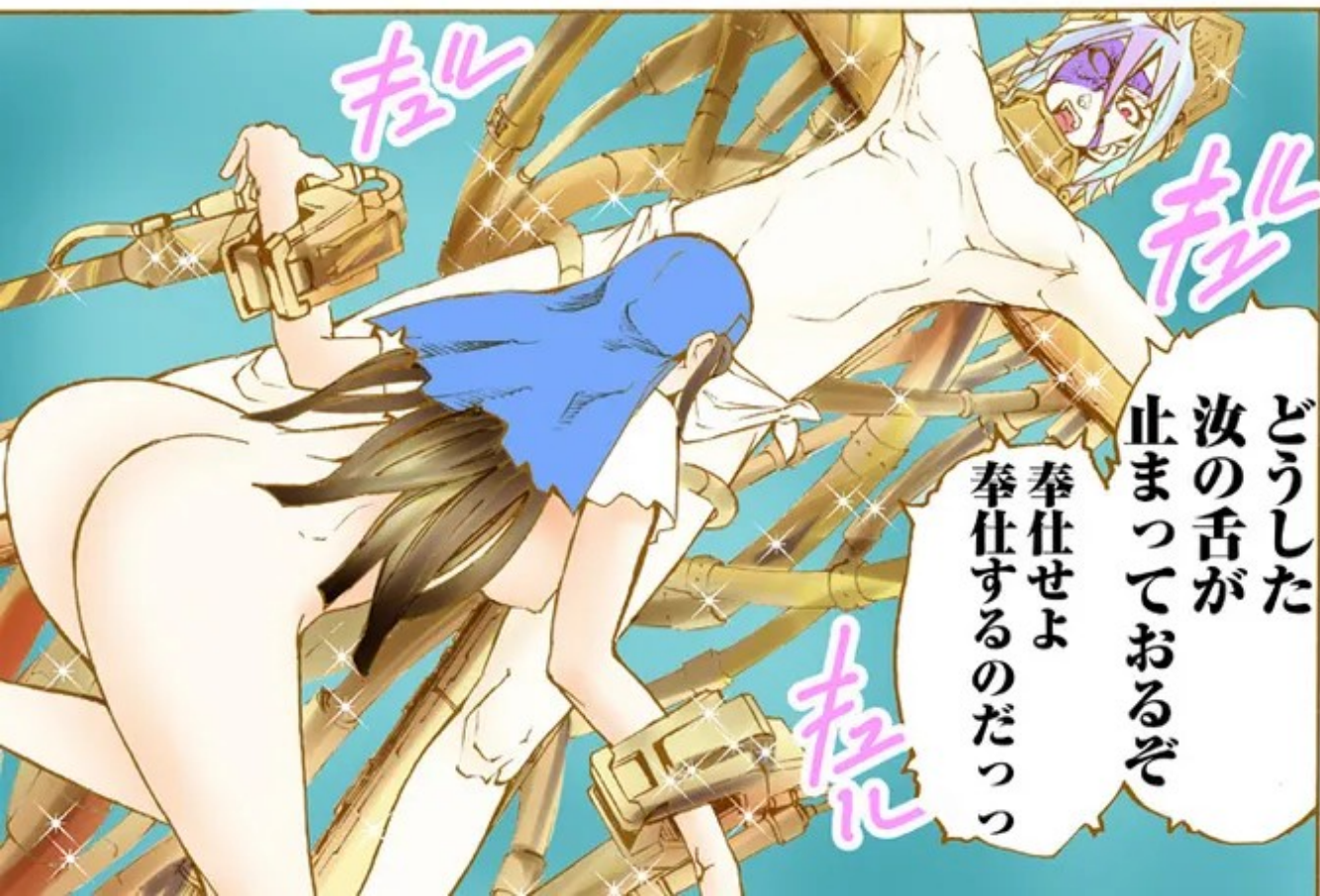
人ってこんなに

あたたかかった
んですね



ムッ

キュル



どうした
汝の舌が
止まっておるぞ

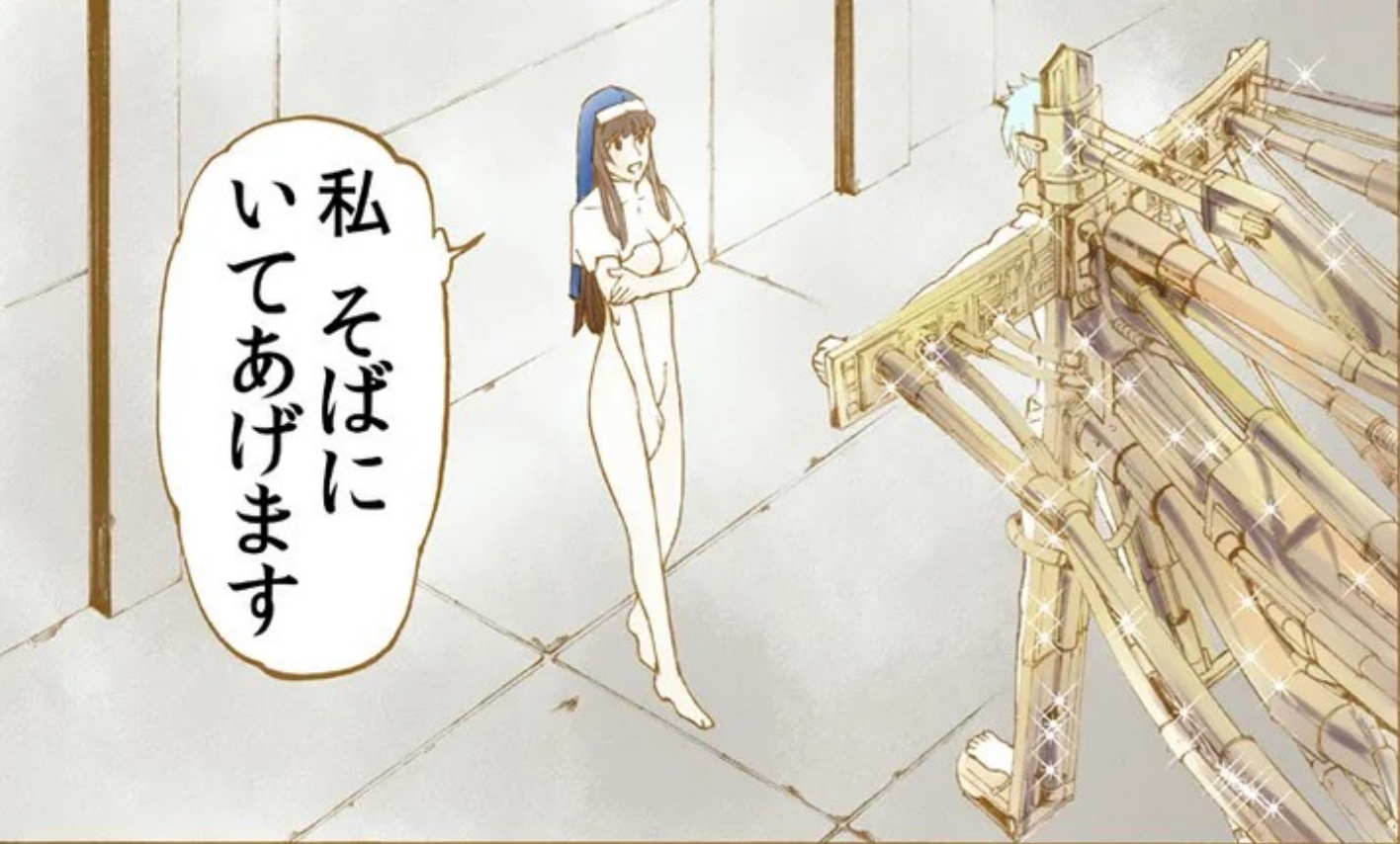
奉仕せよ
奉仕するのだっつ

キュル

キュル

キュル





私そばに
いてあげます



想宇さんが
こんな機械や

心のカベを
なくして

人と
触れあえる
ようになるまで



琴音は
慈母の笑みを与え

私…



想
宇は悪鬼の
形相で返した



私の
何が解るっ

ゴォォォ



お前に

ピッ

お前に

ピッ



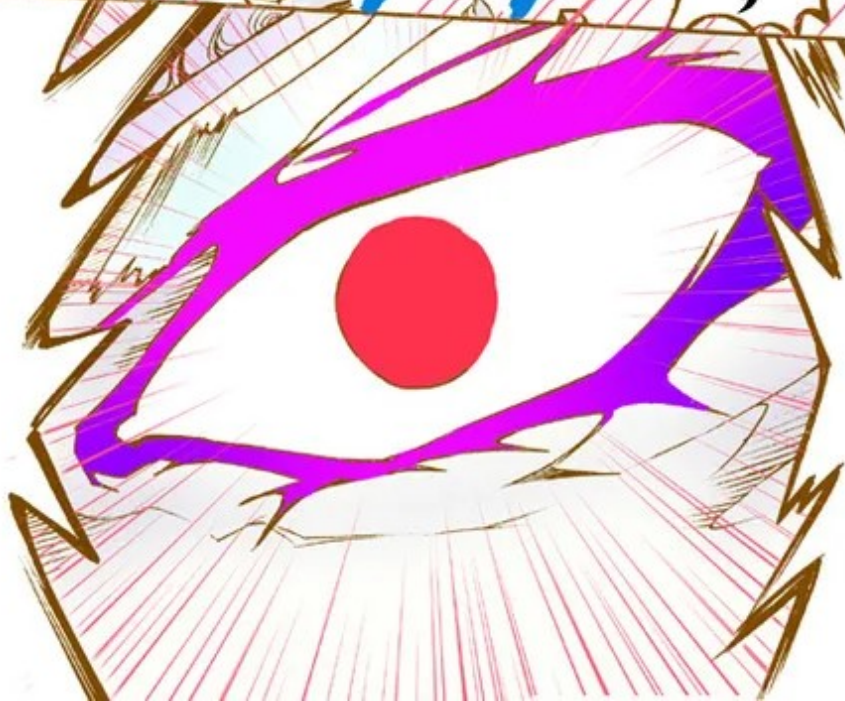
私の
受け続けて来た
苦しみを

何も知らず

何より
私を私を

簡単に解った様な気にな
るなア~~~~!!

私をつつ



憐れむ
なあああ!

本当は

嬉しかったんだ

キヤアッ

ガガガ

だが 想宇は 自分の感情を表すすべを
知らなかった

想宇は
熱いナミダを
流しながらも

その心のカベは
どこまでも厚く
冷たかった

ナカまで憑いて♡



みずきひとし







すっごく奥にくるよおっ

おっ...奥にっ

ガッ
ガッ
ガッ

これすこいっ

すっ...すこいっ

ああーっ

そ...そろそろ
イクよっ
友美
ちゃんっ

いいよっ
ちようだいっ
あたしの胸内に
いっばいちようだいっ

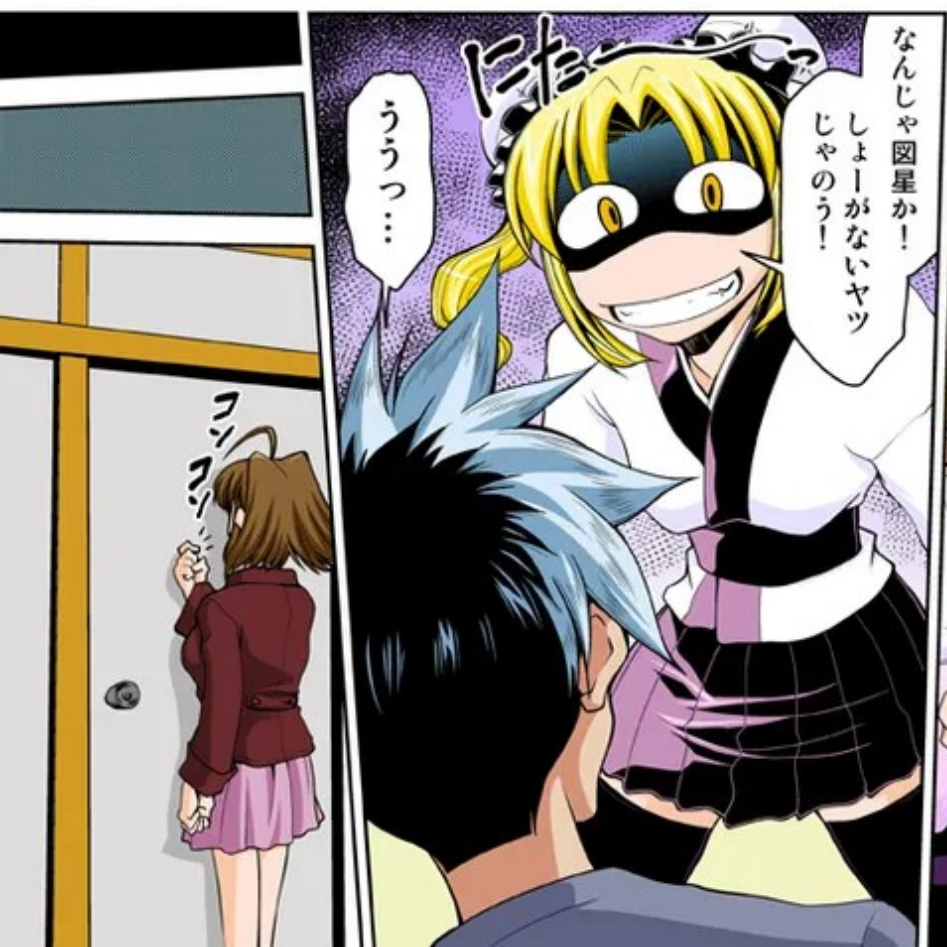
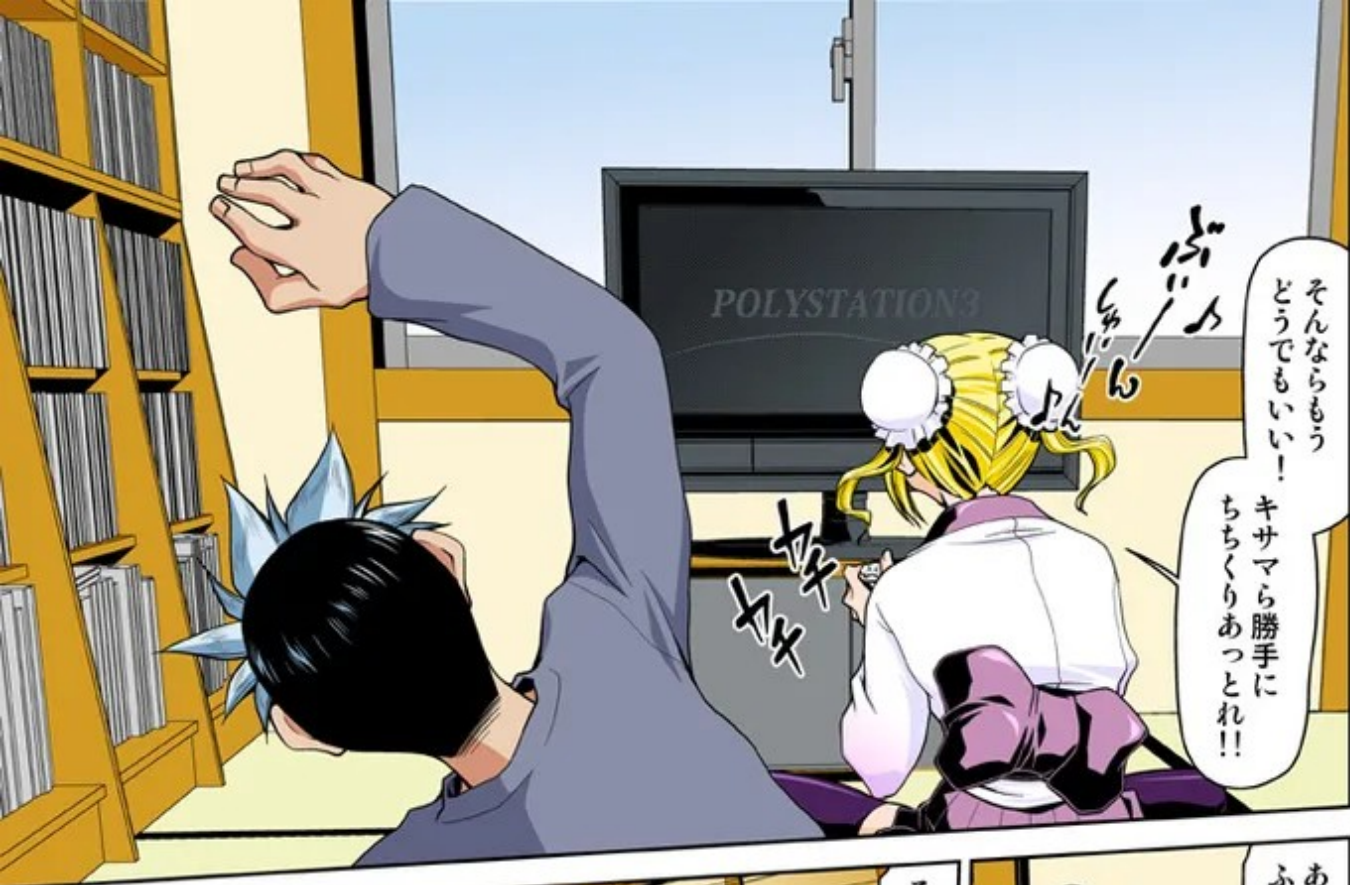


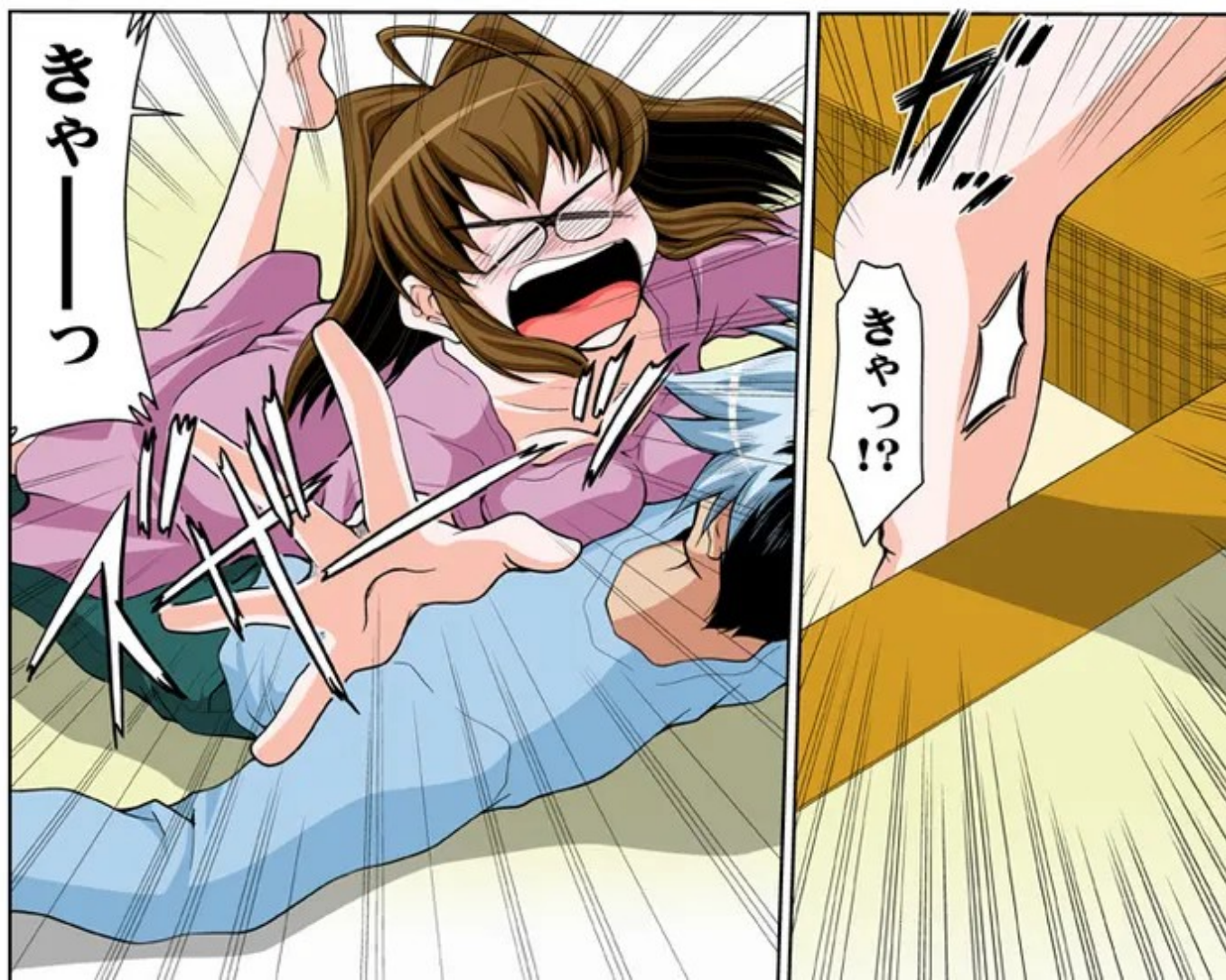


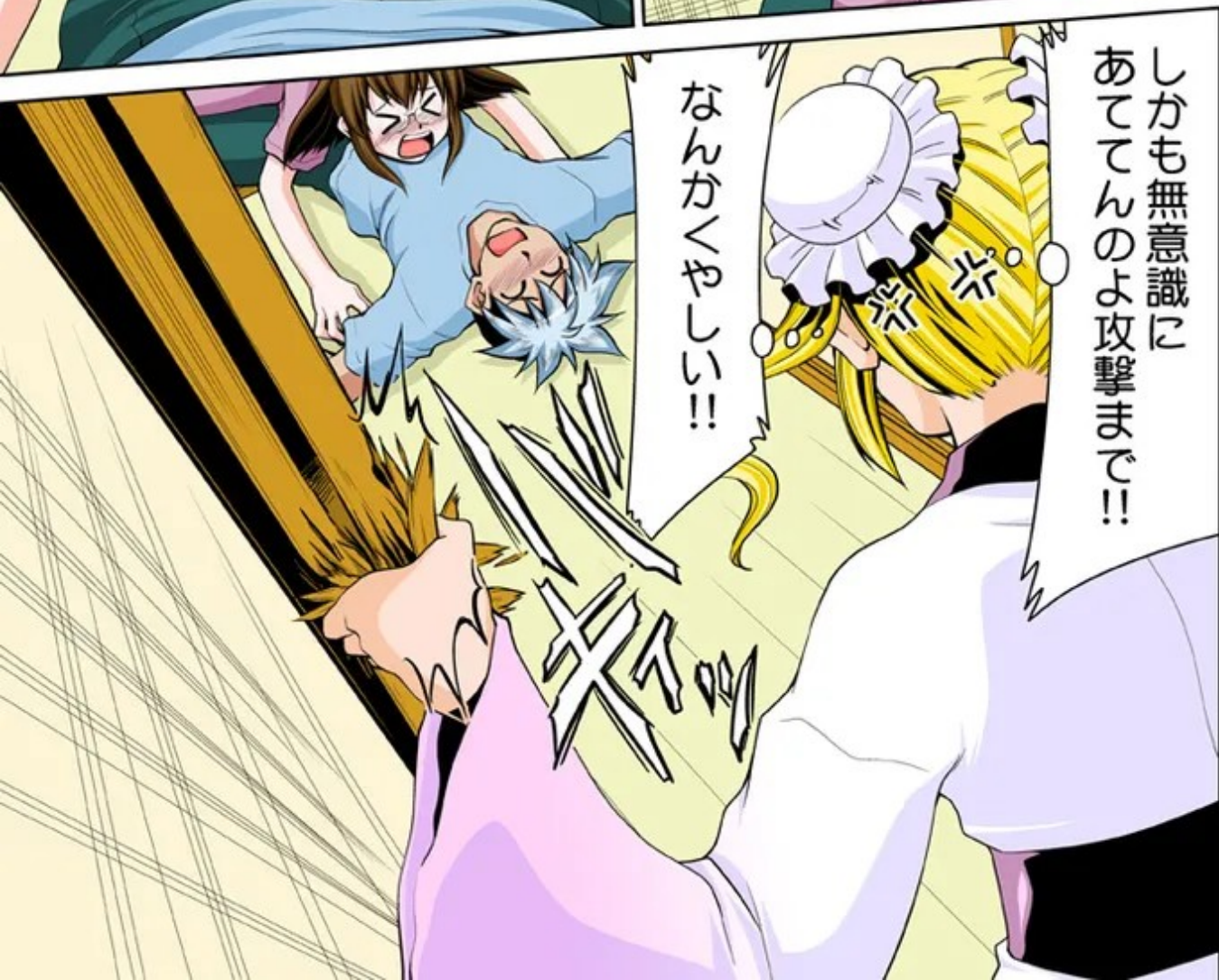
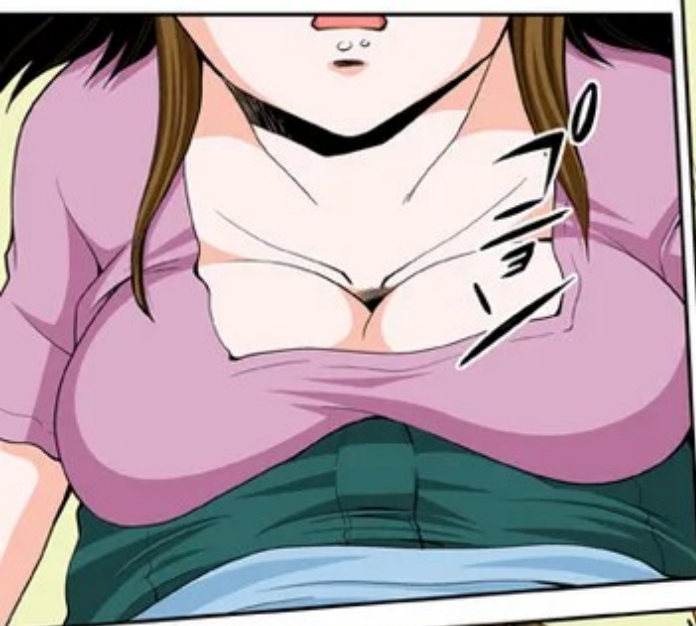
















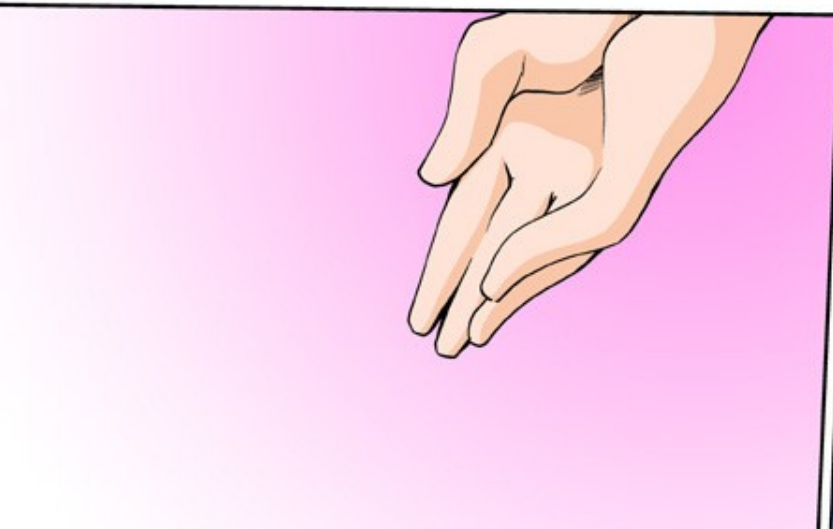
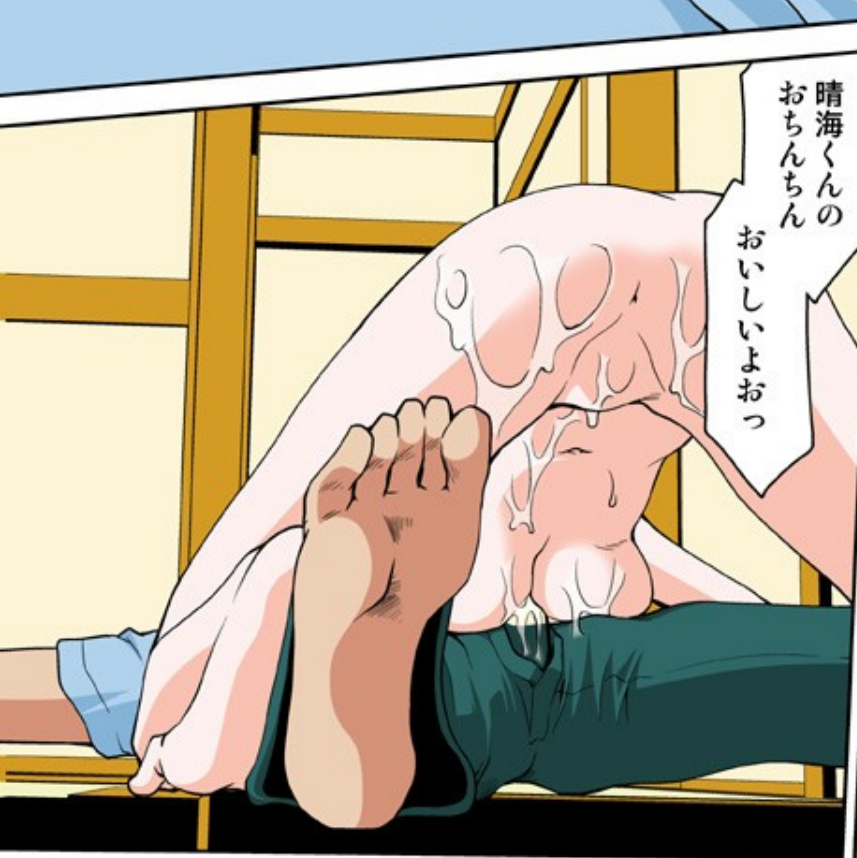
しかもかなりの
インラン!!

なんだこの
無敵超人!?

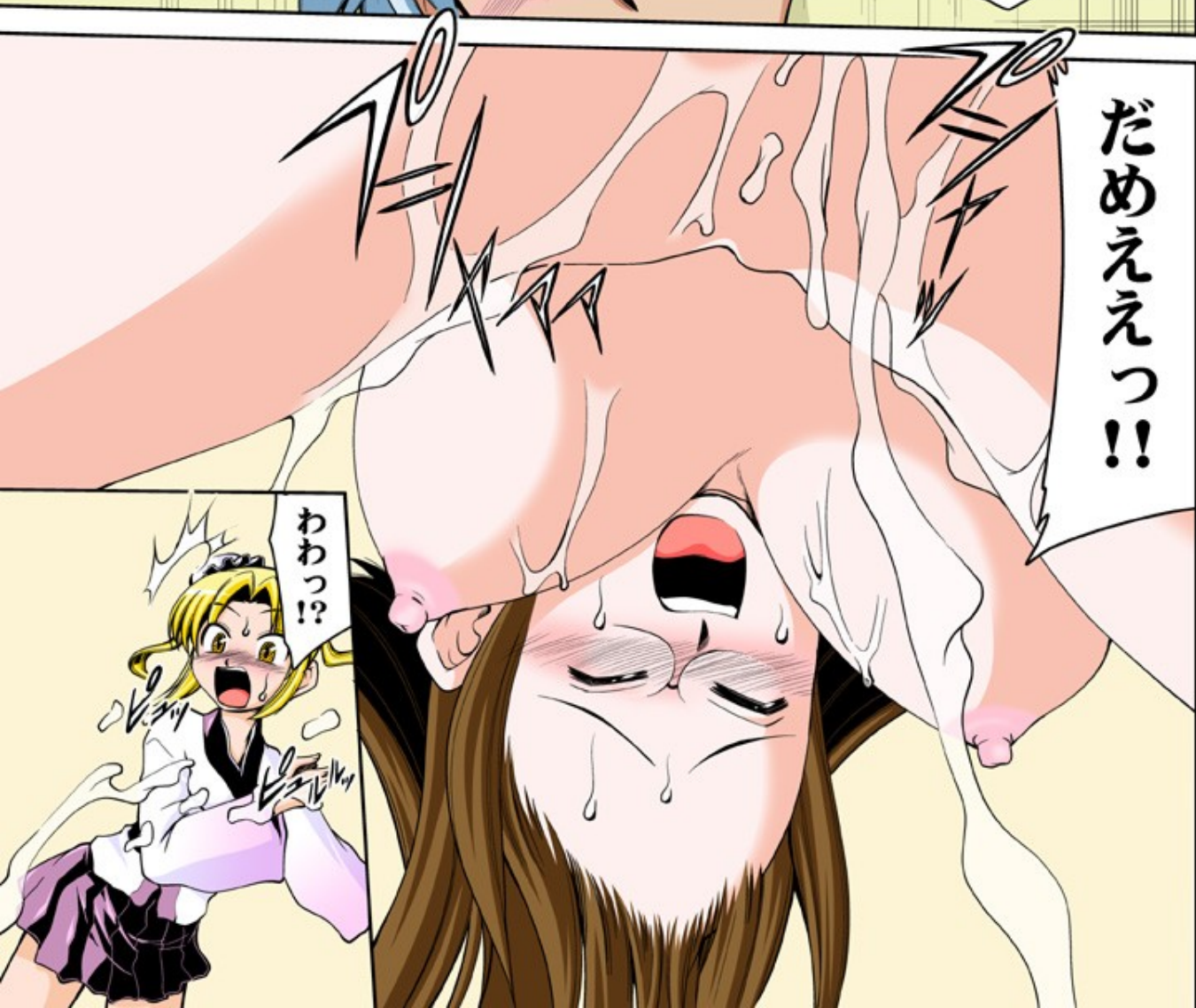
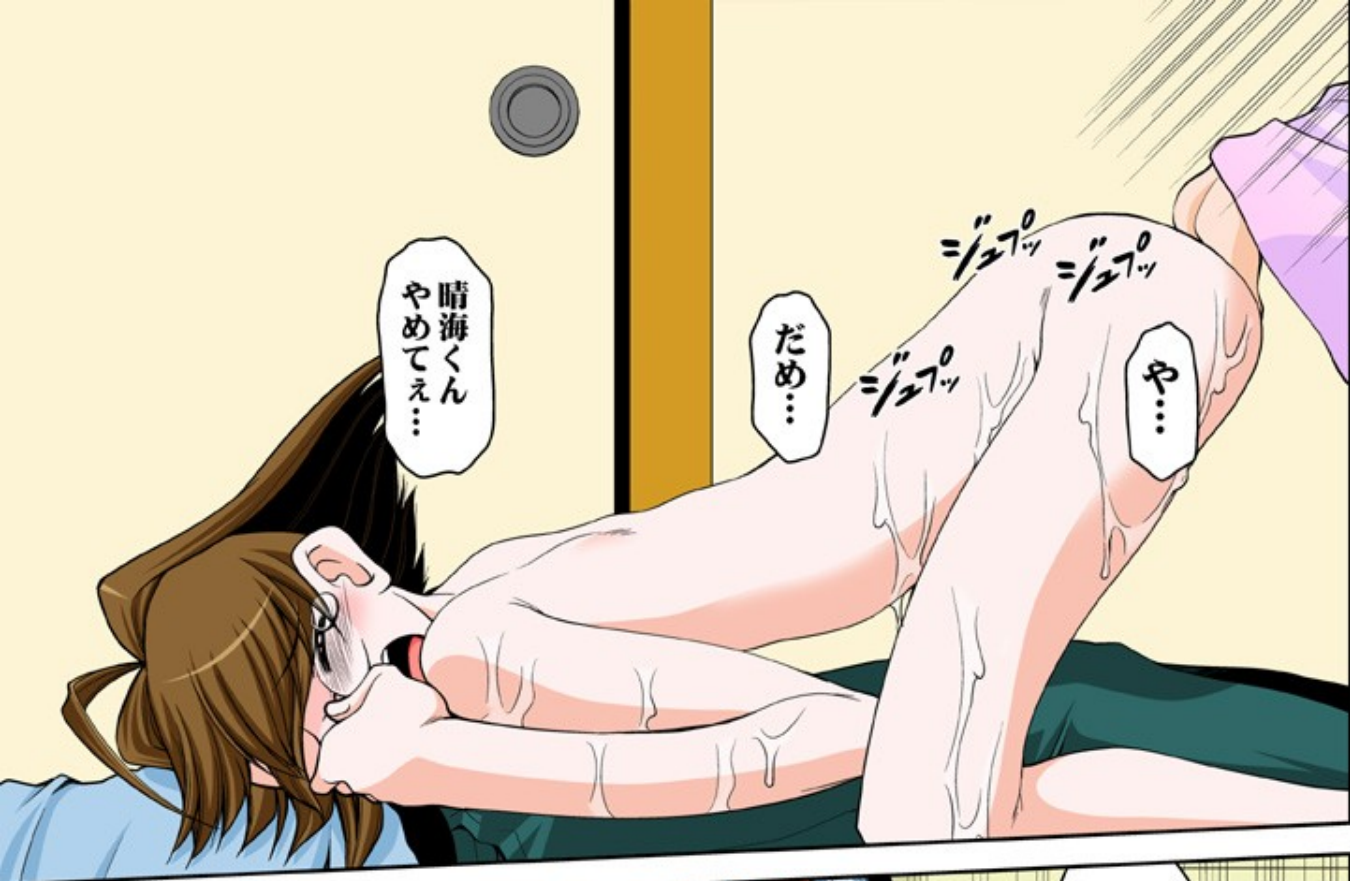
ジャマしてやる!

とことんジャマ
してやる!!











おしり弱いの
黙ってたのに…♡

え？

え？



んもう
晴海くんたら♡



し…潮吹きやがった
この女!!

は
は



ああ——っ



ぐ…



きつ…

うわっ…



スイッチ
入っちゃったじゃない♡











お……
おかしく
な……
……つちやう……

おかしくなつちやう
ろおおお



うっ
びん



遊月恋歌

第一回

第1話

オトメの祈り

ゆーわー





















それならそれで…
あんな風に誘惑しないで
ちゃんと告白して
くれたらいいのに…



もう泣くな有華…
気づかなくて悪かった

初めてなら
もう少しやさしくして
あげればよかったな



不器用なやつ……



ううん…いいの

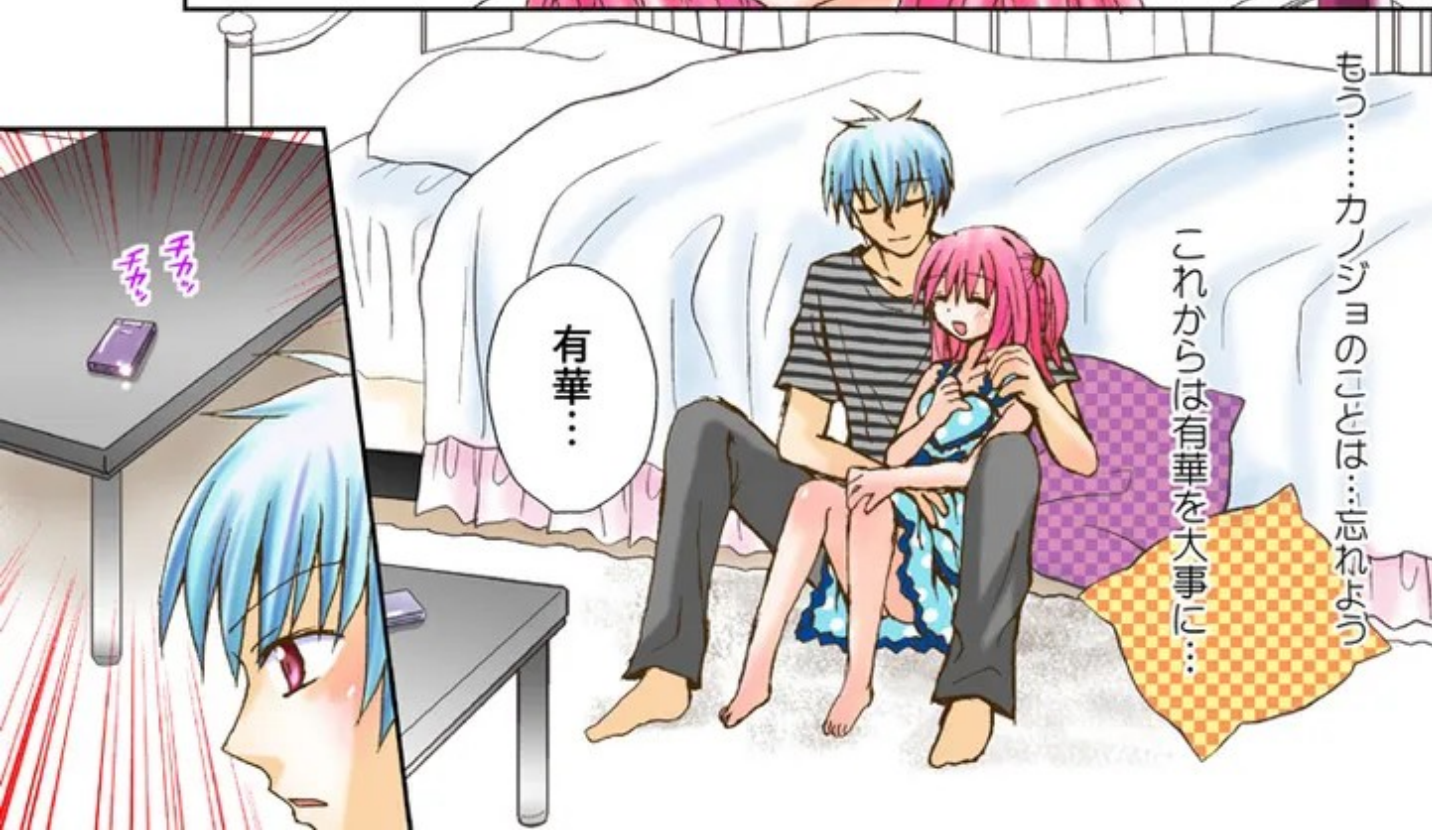
あたし初めての人は
絶対お兄ちゃんが
いいって決めてて
それが叶ったんだから
…うれしかったよ



もう……カノジヨのことは…忘れよう

これからは有華を大事に…

有華…





遊月恋歌

第2話：分裂



ゆーきい



あたし、もっと
ちゃんと濡れる
ようにならないと

お兄ちゃん
きつと
困っちゃうよね

次にする時までに
いっぱい濡れるように
なっておかなきゃ…

ズル

ズ
ズ
ズ

グ
グ
グ

ヒ
ヒ
ヒ

ズ
ズ
ズ

ハ
ハ

しん
しん
しん

グ
グ
グ

ヒ
ヒ
ヒ





メールを無視して
みたりしたのは
逆にオレの気を
ひきたかったかららしい

だって幹弥くん
付き合うようになってから
あんまりまめに連絡
してくれなくなったから…

翔子も
そうしたら翔子の
気持ちわかるかな
って思ってた

うーん…
オレが原因
だったとは

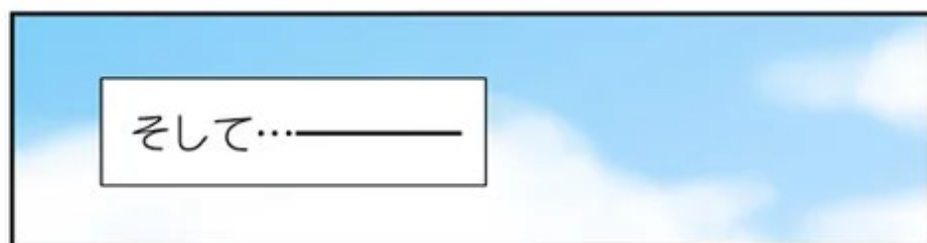
かわいいじゃないか…！

△っ！

しゅぽん。

けど、こんなこと
しちゃ
いけなかったね

ごめんなさい









ぎゅっ

ここでまた
有華としたら

く…だめだろ…

おに…ちゃん…

あっ

びい

…本当のこと
話せなくなる…！

は…は…

声…出すなよ
有華

すっ

は…は…

なるのに…

は…

ん

ん



つつく

